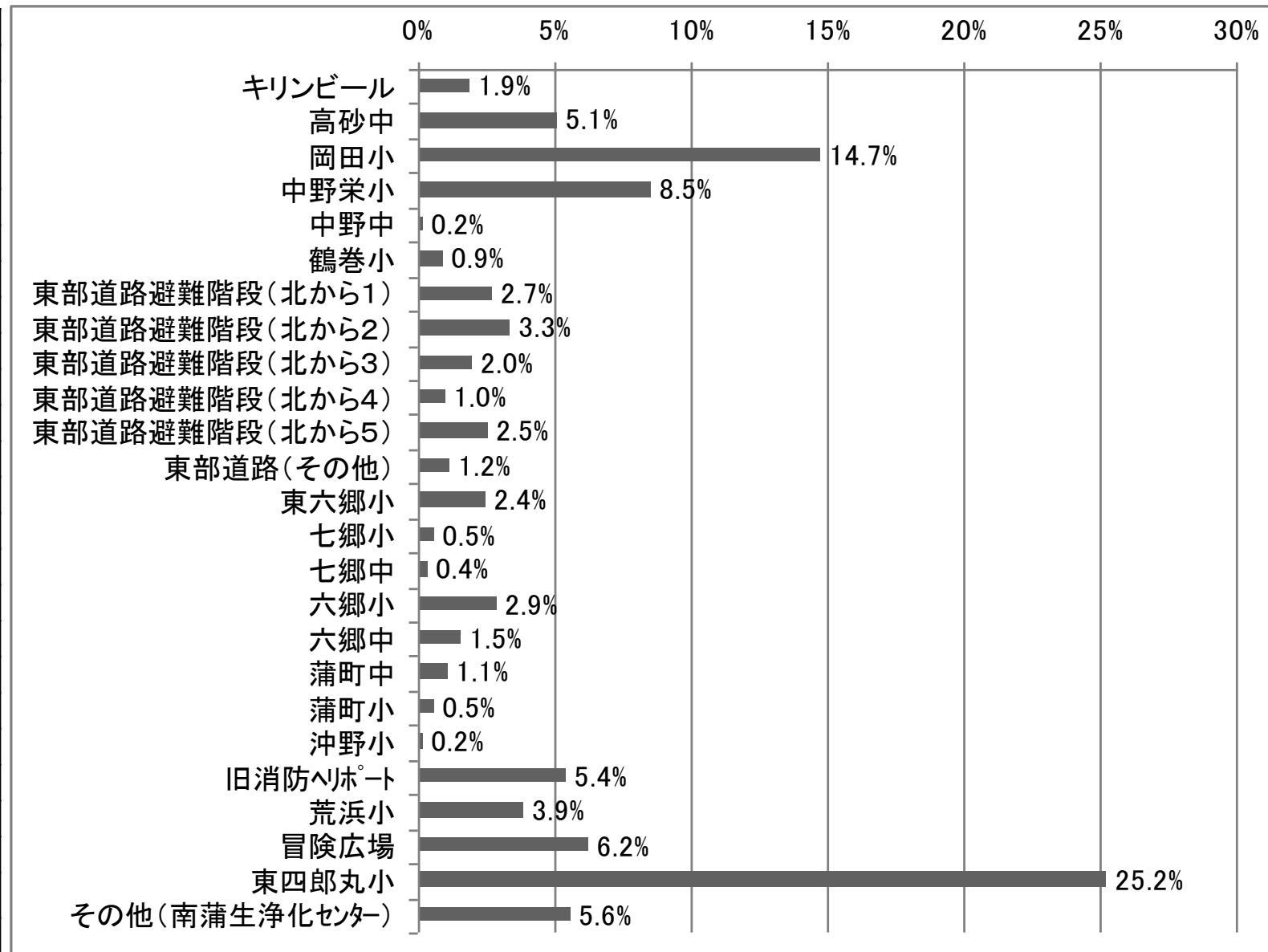


アンケート調査集計結果概要

■各避難場所における避難状況（N=1,106）

避難場所	人数	割合
麒麟ビール	21	1.9%
高砂中	56	5.1%
岡田小	163	14.7%
中野栄小	94	8.5%
中野中	2	0.2%
鶴巻小	10	0.9%
東部道路避難階段（北から1）	30	2.7%
東部道路避難階段（北から2）	37	3.3%
東部道路避難階段（北から3）	22	2.0%
東部道路避難階段（北から4）	11	1.0%
東部道路避難階段（北から5）	28	2.5%
東部道路（その他）	13	1.2%
東六郷小	27	2.4%
七郷小	6	0.5%
七郷中	4	0.4%
六郷小	32	2.9%
六郷中	17	1.5%
蒲町中	12	1.1%
蒲町小	6	0.5%
沖野小	2	0.2%
旧消防ヘリポート	60	5.4%
荒浜小	43	3.9%
冒険広場	69	6.2%
東四郎丸小	279	25.2%
その他（南蒲生浄化センター）	62	5.6%



※ Nとは、その設問項目の回答数である。

※ アンケート調査票

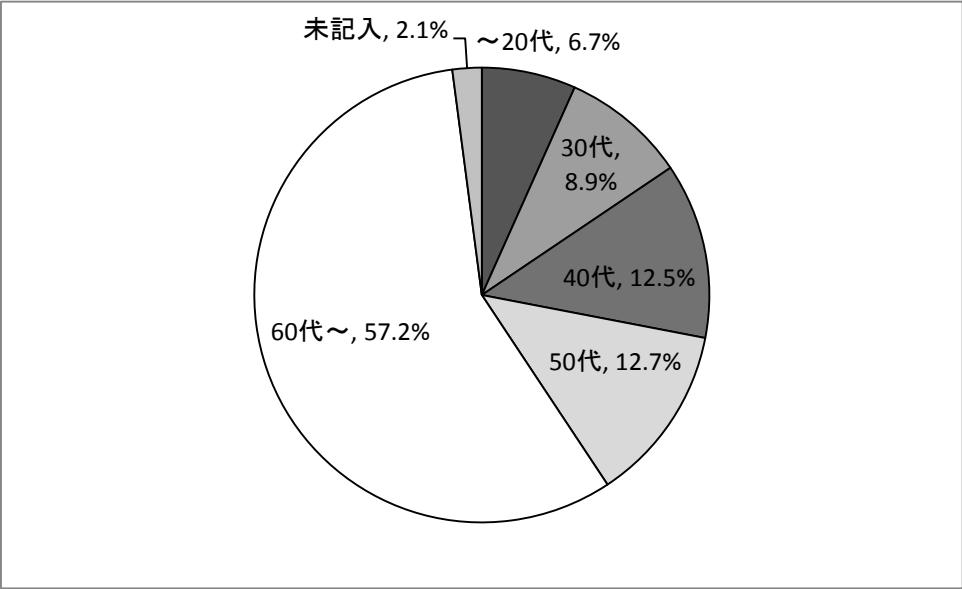
回収数：1,140票

有効回答数：1,106票（全問未記入のまま提出された回答票を含まない数）

■回答者の構成 (N=1,106)

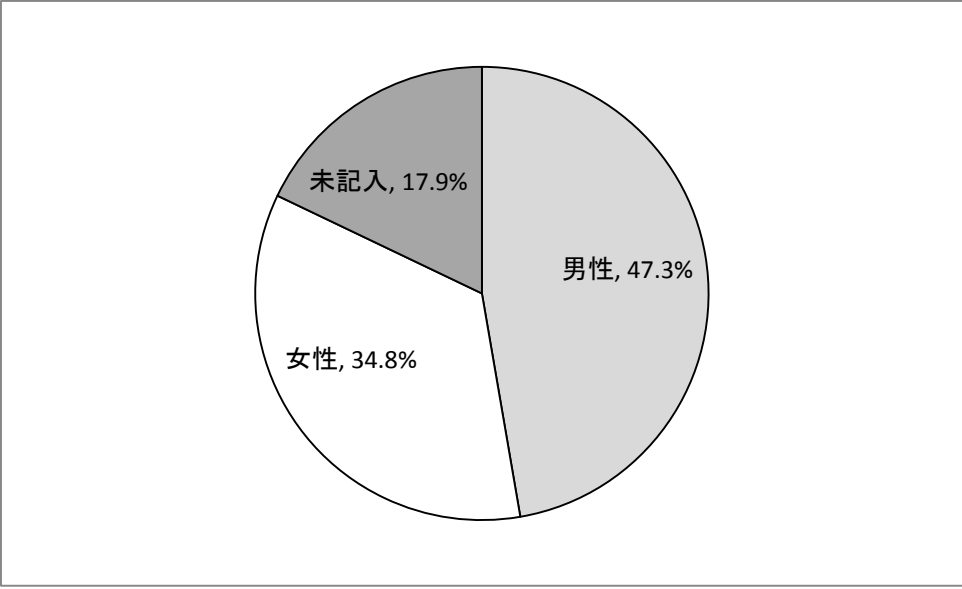
年代

	人数	割合
~20代	74	6.7%
30代	98	8.9%
40代	138	12.5%
50代	140	12.7%
60代~	633	57.2%
未記入	23	2.1%



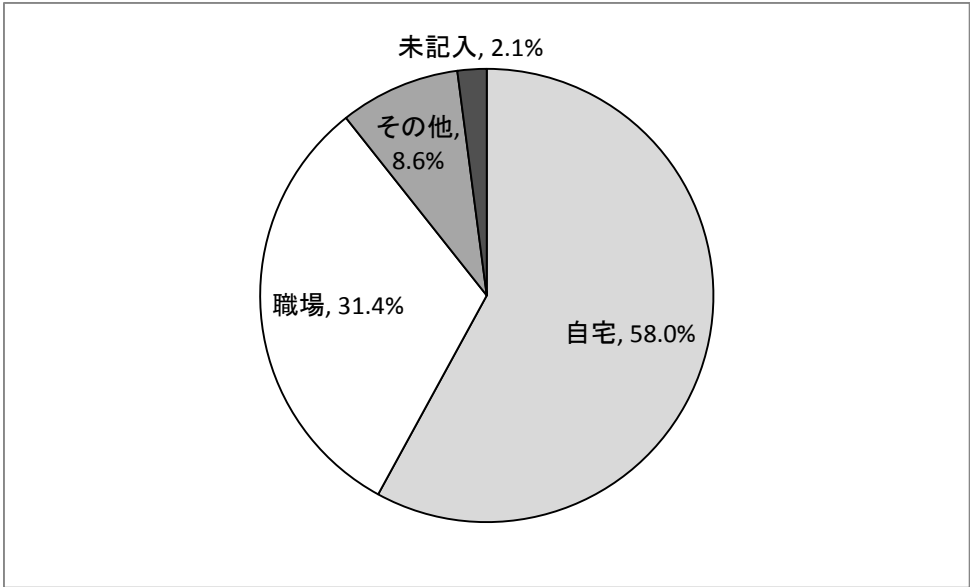
性別

	人数	割合
男	523	47.3%
女	385	34.8%
未記入	198	17.9%



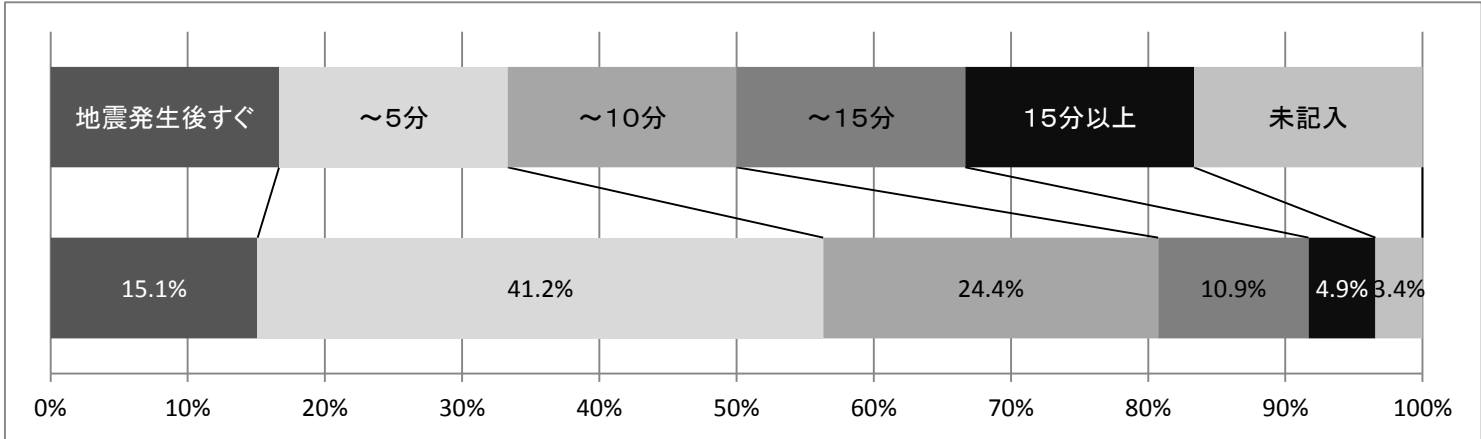
■地震発生時刻（9時）の所在（N=1,106）

	人数	割合
自宅	641	58.0%
職場	347	31.4%
その他	95	8.6%
未記入	23	2.1%



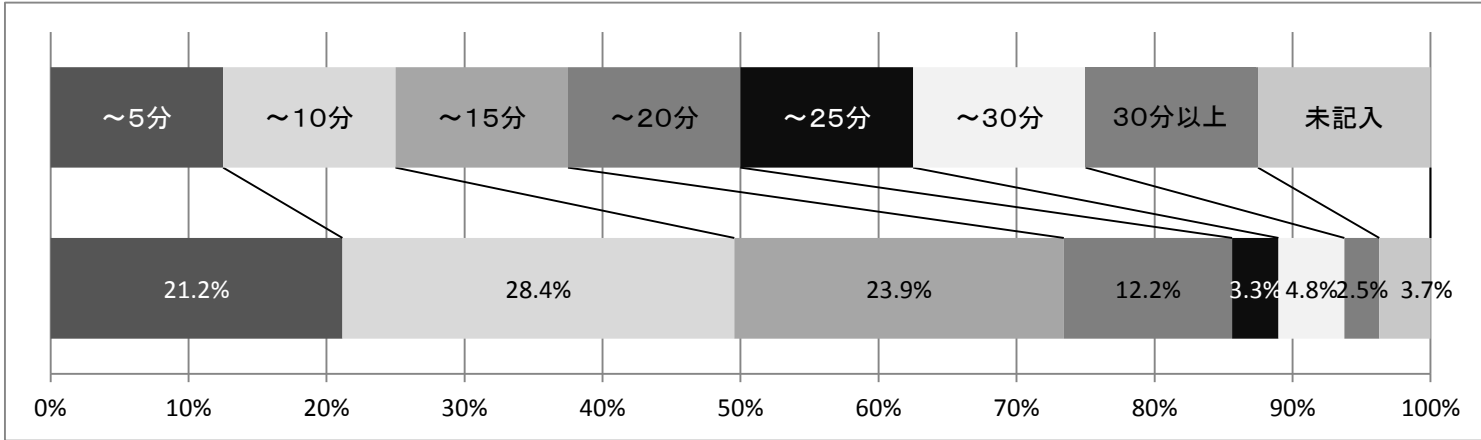
■地震発生時刻（9時）から避難開始までの所要時間（N=1,106）

	人数	割合
地震発生後すぐ	167	15.1%
～5分	456	41.2%
～10分	270	24.4%
～15分	121	10.9%
15分～	54	4.9%
未記入	38	3.4%



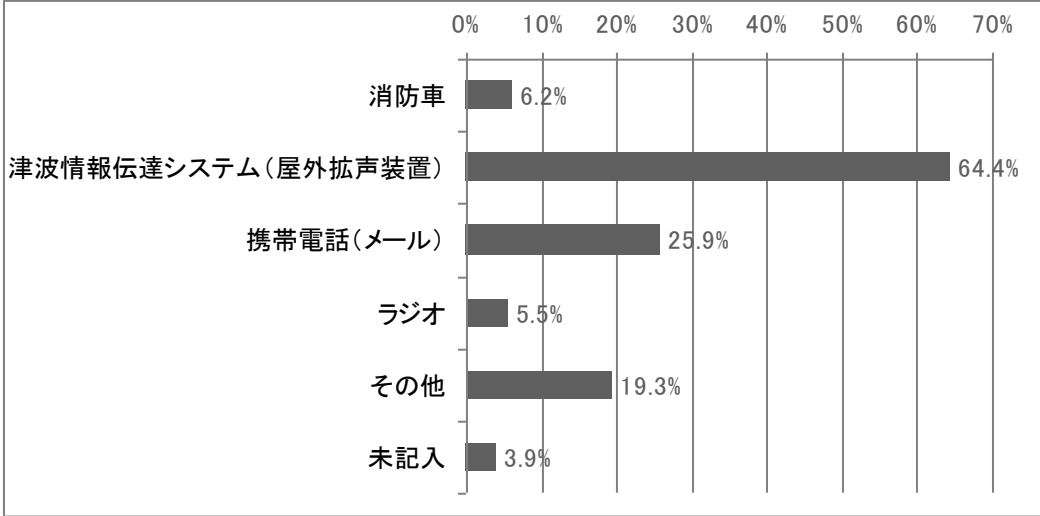
■地震発生時刻（9時）から避難場所へ到着するまでの所要時間（N=1,106）

	人数	割合
～5分	234	21.2%
～10分	314	28.4%
～15分	264	23.9%
～20分	135	12.2%
～25分	37	3.3%
～30分	53	4.8%
～35分	7	0.6%
～40分	9	0.8%
～45分	2	0.2%
～50分	4	0.4%
～55分	0	0.0%
～60分	3	0.3%
60分～	3	0.3%
未記入	41	3.7%



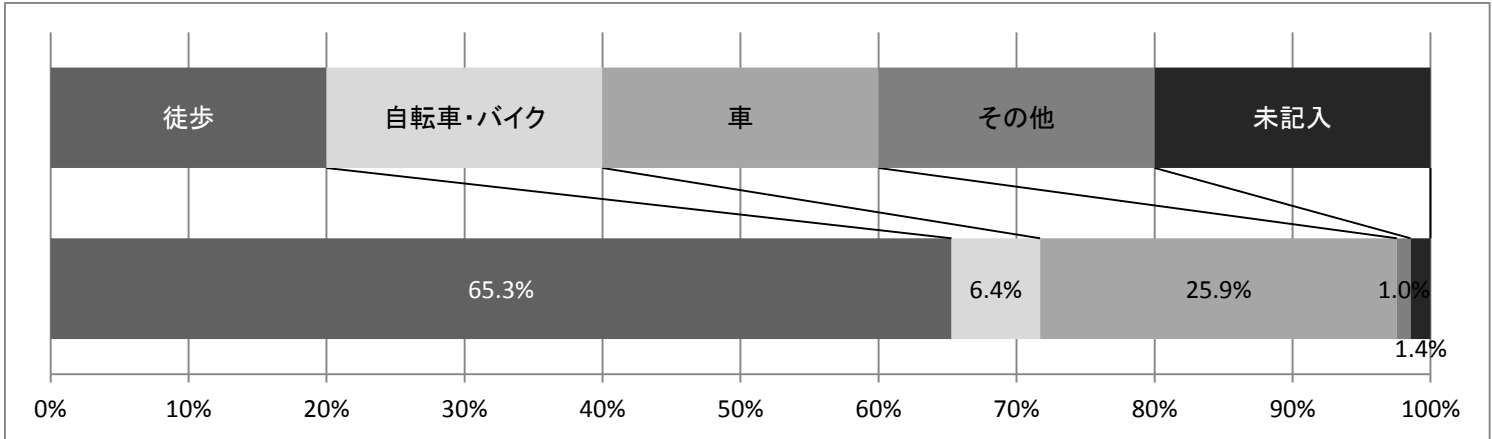
■訓練における大津波警報（津波情報）の入手手段（N=1,106）  
（複数回答）

	人数	割合
消防車	69	6.2%
津波情報伝達システム（屋外拡声装置）	712	64.4%
携帯電話（メール）	286	25.9%
ラジオ	61	5.5%
その他	214	19.3%
未記入	43	3.9%



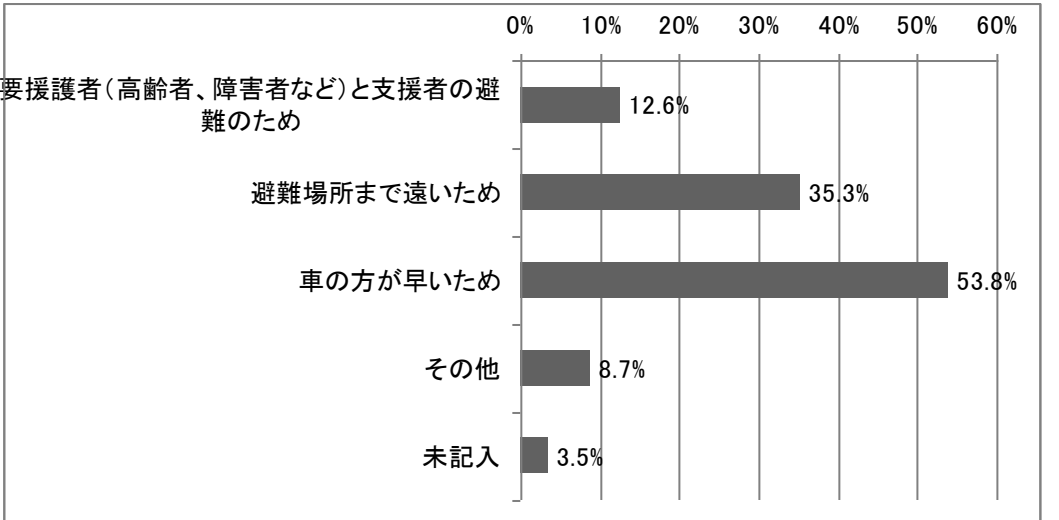
■避難手段（N=1,106）

	人数	割合
徒歩	722	65.3%
自転車・バイク	71	6.4%
車	286	25.9%
その他	11	1.0%
未記入	16	1.4%



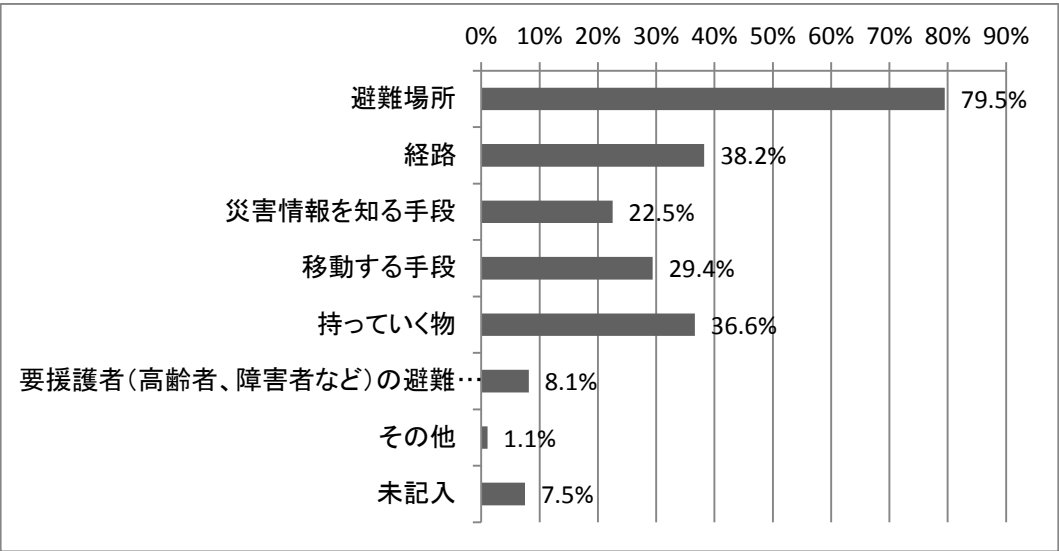
■（前問で「車」を選んだ方）車の選択理由（N=286）  
（複数回答）

	人数	割合
要援護者（高齢者、障害者など）と支援者の避難のため	36	12.6%
避難場所まで遠いため	101	35.3%
車の方が早いため	154	53.8%
その他	25	8.7%
未記入	10	3.5%



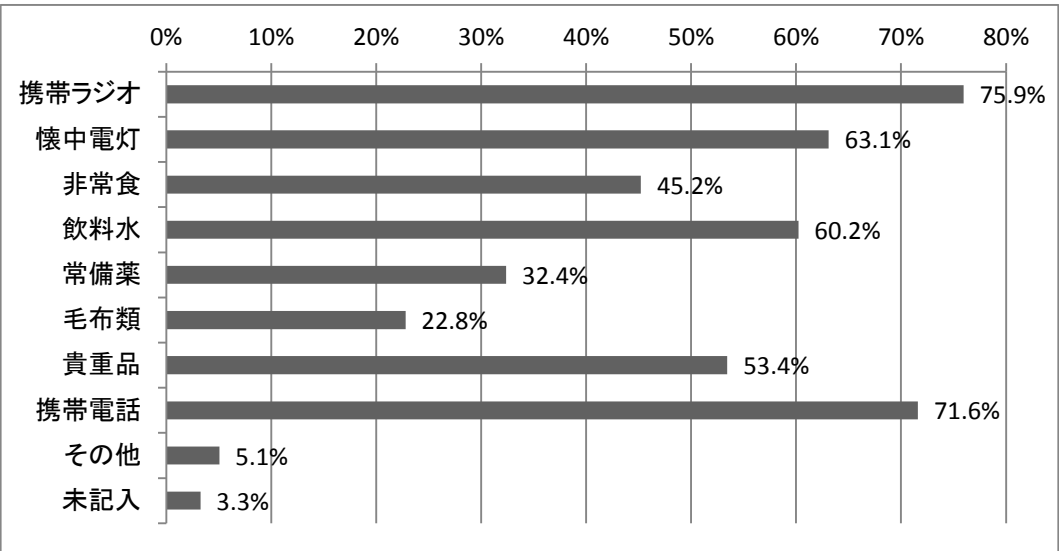
■ 普段から、決めておいたり、確かめておいたこと (N=1,106)  
(複数回答)

	人数	割合
避難場所	879	79.5%
経路	423	38.2%
災害情報を知る手段	249	22.5%
移動する手段	325	29.4%
持っていく物	405	36.6%
要援護者(高齢者、障害者など)の避難支援方法	90	8.1%
その他	12	1.1%
未記入	83	7.5%



■ 今後、災害が発生した時の、避難時における非常持出品 (N=1,106)  
(複数回答)

	人数	割合
携帯ラジオ	840	75.9%
懐中電灯	698	63.1%
非常食	500	45.2%
飲料水	666	60.2%
常備薬	358	32.4%
毛布類	252	22.8%
貴重品	591	53.4%
携帯電話	792	71.6%
その他	56	5.1%
未記入	36	3.3%



## ■訓練についての感想や意見（N=249） <抜粋>

### <訓練内容>

- 地域ごとの訓練が必要と思われる。防災に対する個々の意識確認が必要。
- 時間を変えたり、季節、天気などを変えて行うのも良いと思います。
- 避難はしごを実際に動かしてみても、見ることができたことは良かったです。思いのほか軽いので良かったです。
- 巨大な地震を日々の生活に終われ忘れかけてしまっていたが、今回の訓練で改めて気が引き締められました。今日の気づきを忘れずにいたいです。
- 海岸にて工事を行っているため訓練は必要と思い参加した。
- 訓練したことが実際に天災が起きたら、落ち着いて行動できるかどうかという心配があります。

### <避難場所>

- 実際、階段を避難してみると、登ることが困難な方もいるので、思ったより時間がかかるものだと実感した。
- 高齢者だと3階まで上るのは大変です。
- ベビーカーでの避難でした。階段などはお手伝いして下さる方がいて助かりましたが、上に上った時にはベビーカーを平らにおけるスペースがなかったため、段差において支えながらの状態でした。広めの平らなスペースがあるとよいと思います。
- もっと高い避難場所をいくつも作って欲しい。道路の中央分離帯を短く切ってほしい。
- 避難所にトイレを設置してほしい。
- 取り残される可能性のある場所なので、避難が長引いた場合の対処法など、ある程度想定しておくともよいのではないか。
- 体の不自由が心配。

### <避難手段（徒歩・車等）>

- 車での避難訓練も必要。
- 年配の方が多く歩きはたいへん。
- 災害が起きた時の集合場所への手段で車両を使用することが交通渋滞をおこすことが懸念される。

### <津波情報伝達システム>

- サイレンの音は聞こえるが、話の内容は聞き取れないので工夫してほしい。
- 屋外拡声装置の音が聞こえない。まずはサイレンを大音量で鳴らしたほうが、何かおきたことがわかると思います。